

新しいスタートの年に

理事長 金子 修司

新年の挨拶	1
YSK創立35周年記念式典	2
YSK創立35周年セミナー	3
品質監査室企画室	4
新理事の抱負	5
研修旅行記	6
セミナー	7
横浜市建築局優良建築設計者表彰	8
提案会	9
同好会	10-11
協力会だより 編集後記	12

新年あけましておめでとうございます。
今年一年が皆様にとって素晴らしい年となることをお祈りしております。

昨年は創立35年の節目の年でした。10月に記念式典や講演会を開催し、多くのご来賓や組合員と共に横浜市建築設計協同組合(YSK)の仕事を「安全、安心の街づくり」をテーマに取上げ、幅広く理解を求める企画を実施することができました。また、この成果を小冊子としてまとめ、皆様に資料としてお配りいたしますので、お役立ていただければ幸いです。

この35年間は、阪神淡路大震災・中越地震・東日本大震災・熊本地震など未曾有の地震災害や、異常気象による集中豪雨など今迄経験したことのない大きな自然災害が発生し、安全と安心が社会全体の大きなテーマとなりました。私達は、横浜市の公共建築の耐震診断、補強設計等の業務を通しての実績と経験を重ね、これらの仕事を通して、安全安心への街づくりに少なからずお役に立つことができたと自負しております。横浜市関係の耐震診断、補強設計の業務を一元的にお受けし、1,000件に及ぶ実績を改めて振り返り次への課題を探りたいと考えております。

いよいよ2020年の東京オリンピックまであと二年となり、首都圏の建設ラッシュやインバウンドに向けた各種施設の急ピッチの建設等により、建設関連の工事量が増加し、労働力、熟練工の不足等によるコストの上昇が懸念されます。建設産業も様変わりをしつつありますが、少子高齢化、人口減少、環境問題、バリアフリーなど多くの課題の解決を見据えた公共施設の在り方、小中一貫校、他施設との複合化をテーマとした学校建築の新しいモデルへの模索、遅れている木質化への積極的な研究と早急な対応が必要です。

私達は今まで築きあげてきた横浜の設計事務所集団としてのこだわりと思いを大切に持ち続けて行きます。新しい年の初めに、魅力あふれる横浜を創り上げることに夢を込めて次の時代へスタートいたします。皆様方の益々のご支援とご理解をお願いし、新年のご挨拶とさせて頂きます。



YSK創立35周年記念式典・祝賀会

実行委員長 鈴木 與 (株)神奈川建築事務所

『創立35周年記念事業』の実行委員長を昨年1月に理事長より任命され、まず企画書の検討を行いました。外部の講演者を招いての講演会の開催ではなく、YSKメンバーによる講演会を開催したいと考えました。理事会では、以前から、横浜市公共建築の耐震補強業務のまとめを行う事が課題とされてきました。今回の記念事業と一緒に記録として残す事と、講演会には、横浜市の方々に来ていただき、YSKの行ってきた公共建築の耐震補強に係る報告が行えればと考えました。理事会に提出した企画書は、耐震診断・補強設計について、服部相談役を主講演者とした講演会を行うものでした。理事会より了承を頂きましたが、耐震補強は過去の報告となりがちになるので、今後につながるテーマを意識する事が重要とのアドバイスを頂きました。企画書を基に準備委員会を立ち上げ、講演会の骨子を決め、本事業のテーマ(サブタイトル)を話し合った結果、～安全・安心の街づくり～と決めました。

講演会の内容については、次頁にて報告があります。

10月11日(水)午後5時よりホテルニューグランド本館2階「レインボーボールルーム」にて横浜市建築設計協同組合の創立35周年記念式典・祝賀会に200名近い方々が集まり、熱気あふれた中執り行われました。お祝いの席でありますので、来賓の方々には、食事とお酒で楽しい時間を過ごしていただけたように心掛けました。

和やかな雰囲気の中、金子理事長の挨拶で始まり、創立35年を迎える事が出来た感謝と今までこれからのお安全・安心の街づくりについて述べられました。

式典時、喜ばしい事に横浜市長とチュフ ラインランドジャパン株式会社 代表取締役社長T・シュヴァインフルター様より感謝状を頂きました。

横浜市長様からは、公共施設の耐震化推進の永年精励した、その功績に対するものです。

チュフ ラインランドジャパン株式会社様からは、ISO9001品質マネジメントシステムを2001年から活用し、横浜市における公共建築設計業務の品質向上に努め、その永年の努力に対するものです。

多くの方々のご出席を頂きまして、皆様方の応援を肌で感じ、皆様方の期待にこれからも応えていく所存でございます。今までの公共建物の業務による実績と経験をいかして、次の時代となる横浜の街づくりの新しい第一歩を、本日スタート致します。

最後になりますが、準備委員会の方々、講演者の皆様のご協力のもと、無事に終えることが出来まして、ありがとうございました。



創立35周年記念講演会

テーマ◆安心・安全の街づくり～これまでの業務の総括として

企画委員 小材 裕志
バク建築設計事務所

10月17日(火)午後5時半より過去35年の主要業務となっていた「耐震診断、耐震補強」業務を総括しておく事が将来に向けてのYSKの責務と考え講演会を開催しました。建築局、保全公社の皆様方ははじめ多くの出席者を迎えてディスカッション含め120分間の充実した内容となりました。

「YSK耐震35年」 (株)KR建築研究所 代表取締役会長 服部範二様
「横浜耐震判定委員会の役割」 関東学院大学 名誉教授 槙木紀男様
「沿道耐震等について」 横浜構造設計(株) 代表取締役 宮田和浩様



■講演会

●服部範二氏のお話し～社会貢献を果たしてきたYSK

横浜市が早期から「耐震化」に目を向けその業務を進めてきていて学校体育館200校の耐震補強を短期間で終了。校舎も2015年までに1471棟の耐震補強を完了。その結果大都市間のなかでもトップの位置。「出入口を持つ鉄骨補強フレーム」を独自開発し取得した特許の公開及び「耐震評定(判定)委員会」の設置等、社会貢献を果たしてきたYSK。今後は後進の育成が課題。

●槙木紀男先生のお話し～事後対応の体制づくりが今後の課題

メキシコのお知り合いからのビデオが流され、耐震補強をしないとこうなる、という例です、との映像から始まる。「横浜耐震判定委員会の概要」、「耐震化への課題」として今後は復旧復興に即応できる体制づくりが必要。具体的には応急危険度判定の自動計測化など行政と民間の協力で組織的に動くことが必要。

●宮田和浩氏のお話し～公共建物から民間建物の耐震診断へ

横浜市の学校建築耐震改修のあとのメインの業務である「沿道耐震」及び「耐震改修促進法」「横浜市耐震化の現状と目標」についての説明。今後は民間建築物の耐震化に協力していくことと若手構造技術者の育成がYSKの組織としての責務。

■パネルディスカッション

1)Is値と補助金の事～都市全体の安全を少しでも上げるために

2007年にサンフランシスコを訪問した際、サウサリートという街が耐震性を多少上げるだけで補助をするというような事をしていた。少しでもIs値を上げれば街全体の耐震性があがるので参考にすべき。(金子理事長)

2)田才晃先生から～都市全体の耐震レベルを上げるために

Is値0.6を目標にしていると民間の建物耐震改修が進まない。0.3超えれば補助金を出す、という行政もある。街全体を守るために0.6にこだわらない補助を検討する必要がある。【阪神淡路大震災の調査結果を元に説明】また耐震改修して0.6以上になったから大丈夫と思われているが「地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」であり「倒壊しない」では無い、損傷はある、という事を建物所有者に納得してもらう事が重要。

3)大地震後の対応に関して～早急な建物の社会復旧と文化財保護のために

地震後の対応を素早く行う技術的な手法の確立が急務。具体的には田才先生も関与して研究が進められている「残余耐震性能装置」を利用した応急危険度判定の自動化を早急に確立させ普及させることが重要。またメキシコでは被害にあった外部の壁画でルフィーノ・タマヨの作品を完全に修復している、文化財を大切にしようという考えも大切(槙木先生)



ルフィーノ・タマヨの作品

ISO 9001-2015年度版へ移行スタート!

品質監査室担当理事 白井 洋司 (株)像建築設計事務所

2001年、テュフラインランドジャパン株式会社の認証を受けスタートして17年を経ました。

その間、2008年度版へ改良し、今回は認証内容がかなり変化しました。

ISOの「顧客満足度」を求める、YSKの「横浜の専門家集団としてよこはまのまちづくりへの全力投球」の目標は変わりませんが、経営と成果、パフォーマンスに、積極性と具体的かつリスク対応などが求められています。

既に認証機関による説明会を開催、2015年度版マニュアルを作成、配布、2017年9月の第2回例会を基点として、11月にはYSK内部監査員資格取得講習会を実施、2018年の移行審査(6月)に向け、内部監査(2月)、マネージメントレビュー(4月)が予定されています。

ー新しいISOがYSKのこれから、に役立つように、再び、スタート!



講習会風景

「YSKのこれからを考える」

企画室担当理事 小澤 勝美 (株)ユー・アール・ユー総合研究所

企画室では異業種交流、他の協同組合との交流、新規事業・新規受注先の開拓、参加したくなる勉強会・現場見学、官公需適格組合の活用、受注先との人間関係構築の充実、技術力、デザイン力を高める各種セミナーの開催等色々と行動計画を検討しています。

ここで神奈川県中小企業団体中央会がまとめた「平成28年度 組合所有固定資産と組合運営に関する課題研究会 報告書」について紹介します。神奈川県の会員組合員(768組合)を対象にアンケートを行い、353組合から回答を得た結果は下記のとおりです。

土地を所有している組合が32%、建物を所有している組合が37%であり、約1/3の組合が不動産を所有している。使用用途は、土地については組合事務所用地が50%、建物は組合事務所(会館、戸建)が60%、組合事務所(区分所有)が11%であり、土地建物ともに組合事務所としての利用が圧倒的多数ありました。築年数は築30年以上が48%と老朽化が進んでいます。

コメントでは不動産の員外利用は20%以内と定められており、48%の組合で満たしていません。また、新耐震以前の建物は耐震診断が義務付けられ、耐震性が低い建物は施設名が公表されることから営業の休止に追い込まれる例も多いということです。これらを解決するには、建築家や税理士、弁護士等の協力を得て建替え等の事業計画を具体的に立てることを推奨しています。

11月27日(月)に約200組合が参加するという中小企業団体交流大会があるので参加しました。今後の新規事業に結び付けたいと思います。

新理事の抱負

意匠と設備の橋渡し新理事(副理事長)の一言

副理事長 石渡 順一 協同組合横浜市設備設計

YSS理事長就任から1年経過したときにYSKの総会があり理事に選出され、金子理事長より副理事長に指名され、当初は非常に戸惑った感がありました。

建築設計は意匠・構造・設備で形成されることで成り立つとの説明で、お請けした経緯があります。

基本的スタンスは、設備(YSS)視点からの協力による理事であると私自身認識しております。表題にもあるようにスムーズな業務の流れと、YSK・YSS相互の受注改善と組合の安定経営の橋渡しに少しでも寄与できたら幸いと思っています。

YSSに限ったことではありませんが、人材不足・後継者問題は長年の懸案事項です。さらに設備設計者高齢により後数年内には相当な方が引退されます。若い設計者を育てられる余裕ある会社環境にしていかなければなりませんが設備設計業界だけでは成しません。

設計業界全体での協調が必要と感じ、YSKの皆様にご理解を深めていくのも私の役目と感じています。

受注環境は常時変化していますが、2組合の相互協力を強化し安定した運営を目指し、私自身微力ですが皆様と共に精進していくように努めます。



新理事の抱負～これから何ができるか～

理事 小倉 宏志 (有)小倉一級建築士事務所

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、総会での理事選挙におきましては、皆様から大きな御支援を賜り、心から御礼申し上げます。

皆様の後押しにお応えできるよう、精いっぱい努めていきたいと思います。

昨年、創立35周年を迎え、組合は次の時代に向かって横浜に思いを込め、美しい横浜を創り上げることに希望を込めて、新しい第一歩をスタートしました。

現状、年々、売り上げが減少している状況で、再び売上げを増加するにはどうするか？

組合員の高齢化も進み、次世代の若いメンバーにどのように引き継いでいくか？

等の課題もありますが、諸先輩理事と共に積極的に取り組んで行きたいと思います。

今回、広報担当理事に任命していただきました。長年担当していた総務委員会と企画室とも連携を密にし、組合がよりよく進んでいくことができるよう力を尽くしていきますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



H29年度YSK研修旅行 信州にて木材・文化・芸術を学ぶ旅

稻葉 晃宏 (株)須山設計

木造、木質化に関する昨今のニーズを背景に、木材の見識を深める事をテーマとして、信州の製材工場へ向かいました。

最初の見学地は途中の山梨にある、金属屋根の元旦ビューティ工業新工場を訪問しました。1万m²もある大きな工場の折板屋根は、さすが屋根工場、現場加工の1枚物です。生産ラインでは、鋼板が幾つものローラーを潜る度に整形される工程が、不思議で面白いものでした。新製品の紹介では、止水性、断熱性、汎用性、美観の向上を追求した、高い技術力を目の当たりにし、設計者としては、機能的で美しい屋根を計画する励みになりました。

次に訪れた齋藤木材工場では、地産地消に拘って長野県産のカラマツを主に取扱っていました。カラマツの植林が多い長野県で、強度と加工性に優れる特性を活かし、集成材へ加工、流通させている事業は、非常に理にかなったものだと納得できました。

齋藤木材のカラマツが、宿場をモチーフにした長和町庁舎でふんだんに使用されていました。素地のカラマツは、歴史と共に深い色合いを醸し出していくそうです。

宿泊先は松本市街の夜景が美しい、美ヶ原温泉のホテル翔峰にお世話になりました。美味しい郷土料理と柔らかい泉質の温泉で、旅の疲れが癒やされます。

翌日は安曇野巡りで、まずは碌山美術館へ向かいました。教会調の展示室では、高窓から降り注ぐ陽光に彫刻が照らされて、ますます力強く躍動的に観えました。

続いては楨文彦氏設計のIIDA・KANに向かいます。余計なものを排除して簡潔なディテールで納めたIIDA・KANと、かまぼこ型が特徴の精密機器研究棟、コンクリートの箱が宙に浮いて見える守衛所で構成されていて、設計屋の血が騒ぐのか、展示物を二の次に、目の色を替えて熱心に観察する姿が、自分を含めて大勢ありました。

その後松本市街へ戻ってからは、重要文化財の旧開智学校を視察します。白い漆喰壁と青い空の美しいコントラストには感動しました。擬洋風建築の彫刻飾りや、隅々まで凝った造りを観ると、明治の人々の文明開化の学校教育にかける情熱が感じられ、現代の文化希薄な教育施設が残念に思われます。

昼食は昭和の佇まいが残る松本市街を歩いて、名産のわさびが爽やかな信州そばを堪能しました。最後に訪れたのは、明治時代の母屋が残る酒蔵です。重厚な大黒柱と吹抜けの小屋組からは歴史の重みを感じ、間違いなく美味しい日本酒である事が覗えます。当然お土産に携えて、一路横浜へ帰りました。

二日間を振り返ると、印象的な屋根形状や木造建築の風情を存分に堪能する事ができました。木造と屋根、密接なつながりのある建築要素を見学してきた事は、今後の設計業務にも非常に有意義なものになると感じた研修旅行でした。



元旦ビューティ工業(株)



齋藤木材工場



旧開智学校

企画室報告

企画室 圓谷 英夫 (株)創英設計

昨年9/15(金)・16(土) パシフィコ横浜展示ホールBにおいて横浜市管工事協同組合主催による結成80周年記念事業として、「次世代に未来を臨む設備博 生活環境の祭典 総合設備機材展 いのちを繋ぐ先進技術」が展示紹介されるにあたり、この様な祭典は業界も全国でも初めての事から、[共催者]全国管工事業協同組合連合会他13団体[後援者]神奈川県を始め横浜市の5局と横浜市建築全公社等約50団体と大盛況に実施され、NPO法人建築保全センターも出展のはこびとなりYSKもこの一員であることから毎年行っている建築セミナーの一環として建築セミナーとして、参加することになり、NPO法人建築保全センターやYSK業務のビデオ映像紹介や、マンション部会のメンバーによる建築相談会を行い、86番ブースで展示と、隣接した休憩コーナーを利用して建築相談会を2日間それぞれブース、相談会各2名の担当を決め実施しました。相談者には数名の方が見え専門家としての有効なアドバイスを設備を交えて提供することができました。

会場全体は各出展社小1ブースから大10ブースまで使った約130社の出展があり、新製品や技術革新した展示物で盛況でした。更に会場のステージでは、くまモンの来場や、ゆるキャラ大集合もあり、はまぴょん参加、エネルギーッシュなヒップホップダンス、和太鼓演奏、ハーバーライツオーケストラ懐かしい演奏などの趣向もあり客を飽きさせない仕掛けもありました。更にスタンプラリー達成の方に豪華景品10,000点のお楽しみ抽選会も用意されていました。企画された方々に改めて敬意を表したいと思います。



横浜市総合防災訓練に参加して (応急危険度判定士としての参加)

佐藤 恵 (株)サトー恵建築事務所

昨年9月3日(日)10:00~12:00の時間で横浜市港南区の日野中央公園において、第38回九都県市合同防災訓練実施大綱等に基づく、市民、町の防災組織、事業所、防災ボランティア、防災関係機関の連携の強化と市民の防災意識の向上を図ることを目的とした訓練が開催されました。

想定地震としては相模湾を震源とするマグニチュード8.1、市内最大震度7の地震発生に伴い、家屋の倒壊や道路損壊をはじめとして、電気・ガス・水道等のライフラインに甚大な損害が発生し、住宅街では木造家屋を中心とする火災が発生し、負傷者が多数いるという想定のもと訓練が開始されました。訓練項目としては12項目あり、いろいろな訓練の実施が行われました。私はその中の一つである応急危険度判定士の訓練に参加しました。その前は緊急交通路確保で道路に散らかっている材木やゴミ等を片付けた後の参加でした。こういう訓練への参加はやはり必要だと思います。応急危険度判定として、地震の後、建物がどれくらい傾いているか、建物の中にいることが安全か危険かを判定しながら一般市民の方が建物の中にいられるか、あるいは避難所へ避難する必要があるかを判断していくかなければなりません。

これから関東大震災以来約90年が経って、やがて大きな地震が来るのではないかと言われている昨今、一般市民の皆さんのが安心して生活できるように応急危険度判定士だけでなく私たち建築士は常に地震のことを頭に置きながら、建物の安全性を考えていく必要があると思います。



2017年度 建築設計優良等表彰者～Y SK組合員の表彰～

横浜市建築局が選定する優良建築設計者の表彰式が11月15日に行われました。

新・増・改築部門

【優秀賞】

- (株)野口建築設計事務所
すすき野地域ケアプラザ新築工事に伴う設計



- (株)金子設計
東台小学校増築その他工事に伴う設計



○渡辺建築設計事務所

- 日本語支援拠点施設及び横浜吉田中学校
コミュニティハウス整備工事に伴う設計



改修・改造部門

【優秀賞】

- (有)協和建築設計事務所
洋光台第一小学校屋内運動場改修
その他工事に伴う設計



設備部門

【優秀賞】

- (株)日本環境設計
栄区総合庁舎衛生配管等改修
その他工事に伴う設計



横浜市都市整備局が選定する第8回横浜・人・まち・デザイン賞の表彰式が5月12日に行われました。

まちなみ景観部門

【優秀賞】

- (株)ユー・アール・ユー総合研究所
minaGARDEN 十日市場「Cエリア設計」
○(株)K R 建築研究所
横浜海岸教会「耐震設計」

神奈川県が選定する神奈川県優良工事等表彰(知事表彰)の表彰式が10月19日に行われました。

設計・工事監理

【地域部門】

- (株)KR建築研究所
本庁舎耐震補強設計業務委託

■神奈川県建築コンクール

一般建築部門入賞作品

【優秀賞】

- (株)金子設計
障害者施設「恵和青年寮」及び「恵和館」



第18、19回 提案会＆交流会

協力会は建築に関わる情報、開発技術を活用しYSKのパートナーとして役立つ組織活動を行っています。第18、19回提案会が2017年4月21日(金)及び9月22日(金)にそれぞれ川本工業(株)8階会議室で開催されました。事前に発表テーマを決め、18回は「災害環境対策」、19回は「金属屋根と各種杭工法」について開催しました。

(第18回) 平成29年4月21日開催

●発表テーマ:災害対策

■田島ルーフィング(株)

「災害対策用対空表示

再帰性反射ヘリサインフィルム」



■(株)エービーシー商会

「災害による被害を少なくする軽量天井の提案」



■三和シャッター工業(株)

「防水商品の御案内」

水害対策(川の増水・氾濫、ゲリラ豪雨)



■(株)内藤ハウス

「防災施設としての自走駐車場」



(第19回) 平成29年9月22日開催

●発表テーマ:金属屋根と各種杭工法

■元旦ビューティ工業(株)

「高断熱仕様の金属屋根」「落葉除けカバー付金属内樋」

「狭小地向け無足場断熱RC躯体工法」



■三晃金属工業(株)

「進化した次世代ガルバリウム鋼板」



■三信通商(株)

「各種杭工法について」



第18、19回共それぞれ組合員の所長、所員及び協力会合わせて約70名の参加者がありました。提案会終了後の交流会では活発な意見交換もあり盛り上りました。

次回、4月開催予定(第20回)にも奮ってご参加くださいますようお願い致します。

絵画展

石塚 治 株式会社 詢工房

YSK絵画教室は平成29年12月で248回の教室になります。組合員、その家族、協力会員、その関係者、絵の好きな仲間が集まって毎月第2土曜日にYSK会議室をお借りしてつづけてまいりました。このように教室が長づきできましたのも画く場所をYSKが提供していただいたこと、忠隈先生、教室参加皆さまの情熱だと思います。このような楽しめ場所があることをYSK所員の皆様に再度、お知らせいたします。又、この度はYSK35周年の行事にも組入れてもらい、特別参加者もあり、大変良かったと思います。

絵を描くことに上手、下手は関係ありません。自分の思うように描くのが絵画です。描き方も人それぞれで、水彩画は一度塗ったらそれでおしまいではありません。ひっかいしたり、こすったり、ろうそくを使ったり、表現方法はいろいろあります。自分に合った方法で自分の世界を織り込むことができます。画材は色々あります。裸婦、コスチームのときは、モデルさんに3ポーズ作ってもらいクロッキーを各5分間で描き、そのなかで皆が気に入ったポーズをみんなで選び固定ポーズを決め、20分間づつ5分の休憩を挟み3、4回で描きます。静物のときは花、野菜、瓶、缶、ぞうり、靴、その他描きたい対象を選びそれぞれ自分流に自由に描きます。絵はできたがバックを塗ったらおかしくなったという事はありませんか。絵のバックは画用紙にいろいろな絵の具を抽象で塗りたくり、サランラップをかぶせた上でサランラップをクチャクチャにつまみ少し時間を置いてサランラップを取り除くと予期せぬ模様が出来上がります。それをバックにして静物を描くと又、違った絵になります。



また、皆で楽しい一泊教室で風景を描く企画もあります。どうぞ組合員の皆様の参加をお待ちしています。よろしくお願ひいたします。

ゴルフ大会

斎藤 秀人 株式会社ヨコソ一 専務取締役



「平成29年11月28日第67回YSKゴルフコンペ」

平成29年11月28日(火)YSKゴルフコンペが磯子カンツリークラブに於いて行われました。当日は天候にも恵まれ、秋の紅葉と素晴らしい整備された本コースでのプレイとなりました。インスタート2組、アウトスタート2組の計16名参加の中、この度優勝することができましたのは、一緒にラウンドさせていただきました金子理事長をはじめ、この企画を準備頂きました皆様のおかけであると感謝申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

テニス同好会(いつまでつづくか!)

土屋 三喜雄 (株)横浜設計事務所

テニスラケットを握って40数年になります。テニス同好会に参加する傍ら根岸テニススクールに通い続けていましたが、昨今、週2回のテニスはさすがにきつく、スピード感はなくなり、今まで走れた距離もボールに追いつかず、そしてロブが上がっても追いかける気が起きない等を自覚し、今年春卒業しました。私にとって長く続けてきたテニスは健康のバロメーターとストレス解消、いつまで続けられるかは今後の体力との相談ですが、これからもスクールで学んできた技を糧に、テニス同好会の仲間と楽しみ、レクリエーションの範囲で楽しみたいと思っています。

YSKテニス同好会は、平成9年4月に鹿島スポーツセンター(川崎)で第1回目が行われ、今年で20年を迎えます。今は、毎週土曜日9:00~11:00まで大黒ふ頭中央公園テニスコートで行っています。当会も高齢化が進み、欠席する会員の頻度も高く、テニスに興味のある方(特に若い方)の入会をお待ちしております。汗を流しに参加しませんか!



YSKボウリング大会

吉田 泰久 (株)オオスミ

7月6日(木)第13回YSKボーリング大会をハマボール(横浜市西区)にて開催いたしました。正会員・協力会員の各社から約90名が参加し、日頃の運動不足を解消するとともに、永年培ったボーリング技術の成果を競い合いました。参加された皆様、ありがとうございました。来年もご参加宜しくお願いします。



団体優勝

今回のボーリング大会には、金子設計として、4名で参加し、団体優勝を勝ち取ることができました。大会の楽しい雰囲気に触発され、チーム皆が普段以上の力を発揮できることでこのような素晴らしい結果に繋がったと思います。また、YSKや協力会の皆様と楽しく有意義な時間を過ごすことができたことも大変嬉しく思います。次回も優勝を目指して頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。

株式会社金子設計 設計室
荒井 恒和 様



個人優勝（男性）

会場の楽しげな雰囲気で勢いに乗ることができ、大変素晴らしい結果となりました。

お陰様で楽しい時間を過ごすことができました。

株式会社金子設計 設計室
石田 卓朗 様



団体（女性）

皆様ありがとうございました。ゲーム中の変化する光の演出に戸惑いつつも楽しむ事ができました。

川本工業株式会社 リニューアル事業部
堀口 登喜江 様

協力会 新入会紹介

はじめまして タカラスタンダード(株) 担当 富岡 祐嗣

この度、協力会に新たに入会させて頂きました、タカラスタンダード株式会社の富岡と申します。当社は高品位ホーローを駆使したシステムキッチン・システムバス・洗面化粧台などの製造・販売している住宅設備機器メーカーでございます。昨今の住宅設備機器については、快適性・利便性・安全性等の面で、より満足度の高い商品、より生活の質を高めてくれる商品についてお客様の関心が高まっております。当社の高品位ホーローはシックハウス症候群の原因となるホルムアルデヒドなどの有害物質を一切含まない、人・住まい・環境にやさしい素材として自信を持ってお勧めいたします。どこかで当社の商品が皆様のお役に立てればと思いますので、お気軽にお声かけ下さい。

今後、協力会の一員としてお役に立てるよう努めさせていただきますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

はじめまして ナイス(株) 建設事業本部 木構造事業部 市川 真



協力会に入会させて頂きましたナイス株式会社です。

1950年に横浜市鶴見区で創業し、全国で木材市場事業、建築用資材販売事業、マンション・戸建住宅の分譲・仲介事業を通じて、「お客様の素適な住まいづくりを心をこめて応援する企業を目指します。」を企業理念とし、地震に強い安全・安心な住まいづくりの実現に向け、日々活動しています。

木構造事業部では、ナイスグループの総合力を結集しワンストップソリューションサービスに特化した『木造ゼネコン』として中大規模木造建築に取り組んでおります。

皆様のご活動の中で「木」に関する構造設計・木材調達・木材加工・施工とあらゆる面で広くサポートさせて頂きます。皆様のお役にたてるよう尽力致しますので、ご指導の程お願ひいたします。

はじめまして (株)ピアレックス・テクノロジーズ 井上 陽子



今年度協力会に加入させて頂きました、株式会社ピアレックス・テクノロジーズの井上と申します。

弊社は光触媒工業会認定の光触媒フッ素樹脂コーティング剤「ピュアコート®」の開発・製造・施工メーカーです。また、打放しコンクリートに関しては、新築時はもとより改修工事「ピアレックスG-PFシステム」も様々な規模でご採用頂いており、打放しコンクリート外壁の補修、美観再生、メンテナンスフリーで長寿命化を目的とした光触媒フッ素樹脂による仕上げ迄を得意としております。塗料の性能は建物の寿命に大きく関係します。

今後、皆様のお役にたてるよう努める所存です。宜しくお願い致します。

はじめまして 日本コンクリート工業(株) 佐々木 洋



この度、貴重なご縁をいただきYSK協力会に入会させていただくこととなりました、日本コンクリート工業株式会社の佐々木と申します。

弊社は「パイル」「壁体」「ポール」を主としたプレキャストコンクリート製品の製造・販売から施工管理・安全点検まで、建築・土木工事を一貫して支える企業活動を行っております。

私が担当する「パイル」事業では、建設物の大型化や軟弱地盤・耐震設計等に対し、多様なニーズを持つお客様に寄り添い、“安心・安全”を形にしています。

弊社が長年培ってきた技術力と信頼による強みが、YSK協力会に集う皆様のお力になれますように尽力して参りたく存じますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

はじめまして (株)東部 相馬 智丈



この度、協力会に新たに入会させて頂きました(株)東部の相馬智丈と申します。弊社は、e-pile next【国土交通大臣認定工法】基礎杭メーカーとして、環境負荷の少ない鋼管杭基礎を中心に関連する杭工事や地盤改良等による基礎建設を専門としている会社です。近年では首都圏のみならず、北海道から沖縄まで全国的に活躍の場をいたしております。弊社の強みは自社メーカー、自社施工によるワンストップサービス体制を実現しております。今後も皆様の多様なニーズにお応えすべく、技術力・対応力・提案力等の「総合力No.1」を目指し全社員一丸で努力して参りますので何卒宜しくお願ひ申し上げます。

【編集後記】

明けましておめでとうございます。この号は情報が満載しております。ご熟読の程よろしくお願ひ致します。なお、ご感想、ご意見等をお寄せいただけますと大変ありがとうございます。

『35周年記念リーフレット』『組合案内』『YSKレター』の作成にあたり、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

(広報委員長 川喜田 敬忠)

■ 発行 2018年1月18日

■ YSK広報委員会 koho@ysk.or.jp

小倉 宏志 川喜田 敬忠 須永 信一 宮田 和浩 杉原 健司 小野 哲広

■ 協力 (株)サカクラ (株)LIXIL (株)オオスミ 文化シャッター(株) (株)建通新聞社 (株)ヒライデ

田島ルーフィング(株) (株)神奈川ナブコ JRCサービス(株)